



Vol. 156

2022年10月13日発行  
(令和4年)

議会だより

# しらたか

9月定例会  
山形県白鷹町議会



子どもの声は未来への力  
鮎貝小学校創立150周年記念にすべり台

感染症対策と経済対策	定例会概要	2	p
令和3年度決算審査		4	p
政策提言は町政にどう生かされたのか	政策提言への回答	18	p
輝く地域の力 白鷹の未来を彩る「貝の会」		20	p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。



## 【定例会の概要】

9月定例会は6日から15日まで開かれ、竹田雅彦議員と横山和浩議員が一般質問しました。令和3年度の決算審査を行い、一般会計、特別会計6件、公営企業会計2件を全会一致で可決・認定しました。そのほか、人事、条例、補正予算など、町長提出の案件をすべて全会一致で可決しました。

# 感染症対策 と 経済対策

## オミクロン株対応ワクチン接種がスタート

2回または3回目接種から5か月以上経過した16歳以上の町民が対象です。  
(4回目接種を終わった人は今回の接種を受けられません)



有効性・安全性  
(厚生労働省 HP)



詳細は白鷹町の  
ホームページで

## 原油高騰で影響を受けるところへの支援

原油価格の高騰で影響を受ける町内の法人や個人事業主への支援です。  
(農業経営者、木材生産業者、運送業者など)



支援給付金をいただき  
ありがとうございます。今後も  
原油の高止まり、円安の影響による  
燃料高騰が続くと思われませんが、給付金を  
活用し安定経営に努めてまいります。  
今後ともよろしくお願いいたします。  
(町内運送業者)



コロナ禍の影響を大きく受け、厳しい経営が続くパレス松風

民間事業者が有する専門的知識や経営能力などを活用してサービスの向上を図るとともに・・・

(公募の概要より抜粋)

# 事業者の公募が始まった

## 白鷹町ふるさと森林公園

### ※1 指定管理の概要

※1 指定管理者制度は、公の施設管理の権限を民間の指定管理者（業者）に委任して行わせることのできる制度

- 業務 ● 温泉・宿泊・売店・レストラン等の営業
- 施設・設備・備品類の管理や保守

- 期間 ● 令和6年4月1日から  
令和16年3月31日までの10年間

- 管理料 ● ※2 債務負担行為（限度額）  
5200万円／年 × 10年 = 5億2千万円

- 令和4年度中に業者を選定する。

大切な財産であるふるさと森林公園に町の内外からたくさんのお客様が訪れ、活気あふれる施設になるよう期待します。再整備特別委員会で、議論を重ねます。

Voice  
議員の声

※2 債務負担行為：あらかじめ後の年度の債務（※3）を約束することを予算で決めておくこと

※3 債務：特定の人に特定の行為や給付を提供しなくてはならない義務のこと



16 ページに関連記事

# 決算審査 142質疑で認定

## 各会計決算の議決状況

会計項目		歳入(収入)	歳出(支出)	議決状況	
一般会計		107億 383万円	96億6376万円	全員賛成により認定	
特別会計	十王財産区	374万円	26万円		
	下水道	4億3802万円	4億1232万円		
	国民健康保険	15億5524万円	14億8990万円		
	農業集落排水	1億5782万円	1億5133万円		
	介護保険	16億8218万円	16億 495万円		
	後期高齢者医療	1億6455万円	1億6164万円		
公営企業会計	水道	収益的	3億2764万円		2億8575万円
		資本的	1605万円		1億6883万円
	病院	収益的	12億2692万円		11億9339万円
		資本的	2175万円		1億2276万円
合計		162億9773万円	152億5490万円		

(万円未満は端数調整)

※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

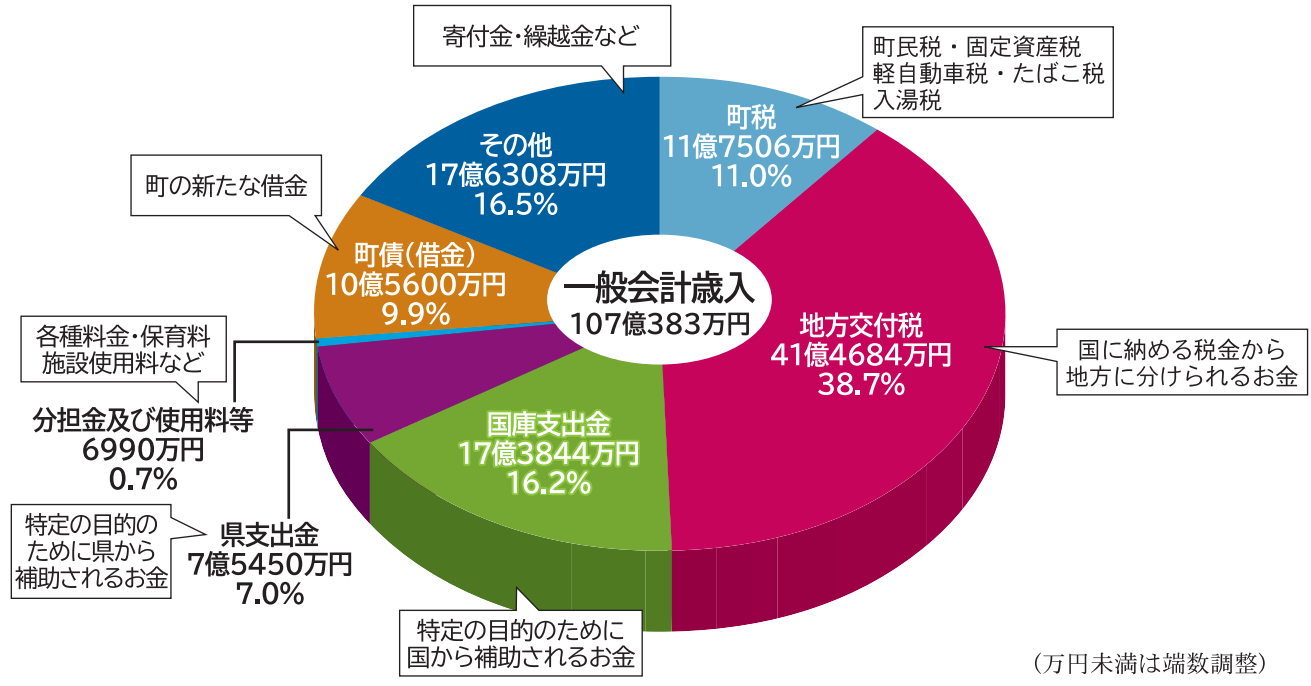
**令和3年度の決算を審査**

議会で可決した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、審査しました。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

**6ページから関連記事**

## 令和3年度に行った主な投資的事業 (万円未満は端数調整)

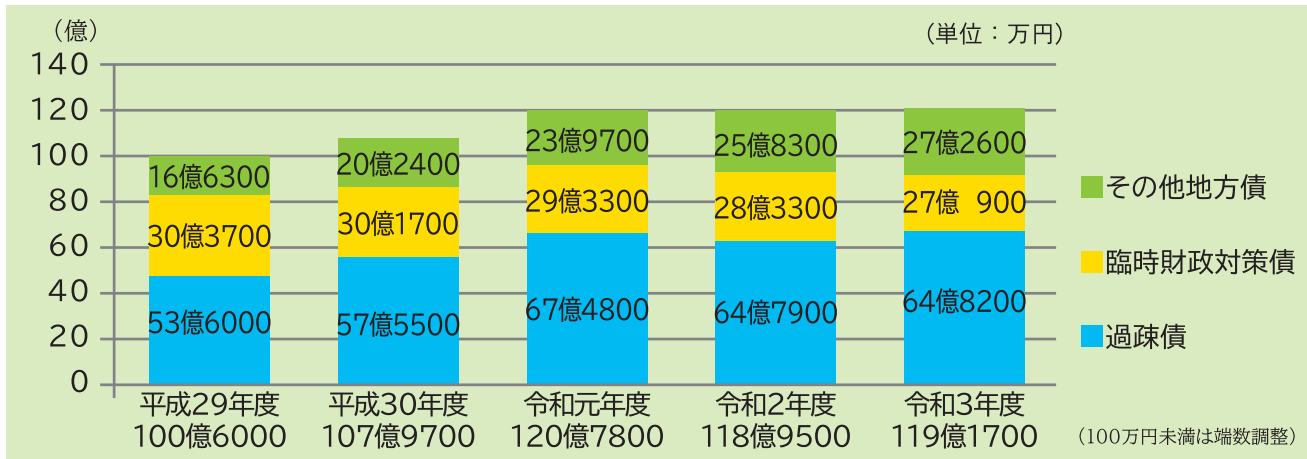
鮎貝地区コミュニティセンター大規模改修	2878万円	子育て支援住宅整備	1億1270万円
鷹山地区拠点施設整備	2337万円	防災情報配信設備整備	3872万円
地域交流商業施設整備(地域交流広場)	3408万円	防火水槽新設	1580万円
町道安全対策	2910万円	蚕桑小学校プール改修	3900万円





## 地方債（借金）の状況

●地方債とは、町が会計年度を超えて行う借入れのことです。



### ●その他地方債とは

災害復旧や教育福祉施設整備などのための借入れ。  
返済額の一部は普通交付税として国から町に交付される。

### ●臨時財政対策債とは

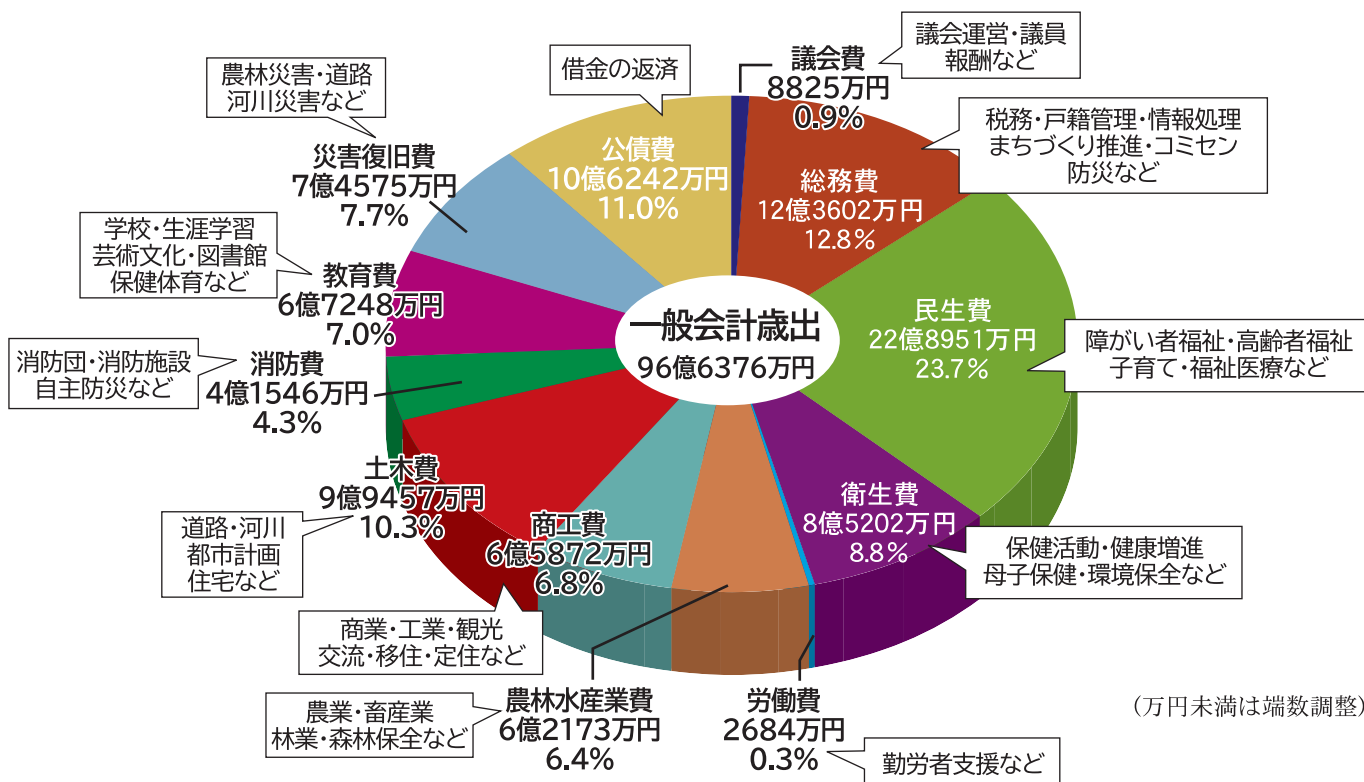
国の財源不足を補うための地方の借入れ。  
返済額の全額が普通交付税として国から町に交付される。

### ●過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借入れ。  
返済額の約7割が普通交付税として国から町に交付され、残りの約3割を町が負担する。

## 白鷹町の財政力

区分・年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	説明
財政力指数	0.283	0.293	0.292	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	86.8	89.2	88.9	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	9.3	8.7	8.4	収入に対する負債返済の割合。



# 決算特別委員会

歳入  
(町の収入)

質疑

納税のスマホ決済の割合

**小口委員** 町税等の納入において、スマートフォン決済の占める割合はどのくらいか。

**税務出納課長**

件数は315件、納税額では529万円。総件数に占める割合は1・8%。利便性と多様な支払方法を提供し、納税率の向上につなげたい。

町民税減少の原因

**小口委員** 個人町民税と法人町民税が減少した原因をどう捉えているか。

**税務出納課長**

個人町民税は人口が減ったため働く人も減り、納税額が減少した。また、法人町民税は、自動車関連など製造業の落ち込みが原因と考えられる。



ふるさと納税の増加

**笹原委員** ふるさと納税増加の要因は何か。

**商工観光課長**

寄付できるインターネットサイトを1件から3件に増やし、寄付者の目に留まる機会が増えたこと。また、返礼品を43品目増やしたことが要因と考えられる。



賛成  
討論

各分野の継続に期待



笹原 俊一 議員

コロナ禍の影響を受けた事業所への支援、全町民への地域応援券の配布など経済活動を支えた。

観光分野ではサウンディング型市場調査が実施され、ふるさと森林公園などの継続が期待される。

教育分野では、4年度からの保育料無償化への条例改正や、全学校へのトイレ洋式化も実施された。

地域コミュニティの希薄化が課題になる中、地域の後押しになる支援を期待する。

農林分野では6次産業化施設の具体的な活用、町産材が使われる仕組みづくりに期待する。

ゼロカーボンシティ宣言が行われた。町民自ら取り組める施策の展開を期待する。



# 歳出 (町の支出)

## 質疑

### 総務費

職員研修の重点は何か

横山委員 職員の人材育成で大切にしたい点は何か。

総務課長補佐

働き方改革、業務改善が特に目立った。

高齢者後付踏み間違え急発進抑制装置

金田委員 補助金の決算額が予算額に対し大幅な減となった要因は何か。

町民課長 後付けでき

る車種が限られていること。新車を買ひ替える際に、その機能のある車種を検討することが多かったことなどによると考えられる。



デジタル推進の成果

笹原委員 デジタル推進の具体的な成果は何か。

企画政策課長

主にICT推進方針を立てた。また、各区のコミュニティセンターで開かれたスマートフォン教室へ講師派遣の支援を行った。

マイナンバーカードのセキュリティは

竹田委員 国へのサイバー攻撃もあるが、マイナンバーカードのセキュリティ状況はどうなっているか。

町民課長

マイナンバーはネット上に流出することがない仕組みになっている。登録口座情報もデジタル庁で管理し、十分な対策を講じていると認識している。

### 民生費

第2期健康と福祉の里構想

竹田委員 構想を今後どう推進していくのか。

健康福祉課長

マンパワーの確保と、拠点としての健康福祉センター及び町立病院の長寿命化対策が重要であり、関係部署と連

携を取りながら対応していきたい。

すこやか・安心地域づくりモデル事業の成果は

横山委員 どのような成果を得られたか。

健康福祉課長

地域住民が連携しながら主体的に地域課題の解決に取り組む仕組みづくりへの支援である。東根地区をモデル地区として事業を実施し、防災活動などを行っていた。

### 衛生費

子どもの健康づくり検診事業の中止の影響は

横山委員 2年連続で実施できなかったようだが、準ずる取り組みはあったか。

健康福祉課長

感染リスクなどを考慮して中止した。生活習慣など健康について

話し合うための参考資料を送付した。

がん検診の受診率

奥山委員 同日検診、人間ドックで実施するがん検診の受診率と早期発見の啓発を伺う。

健康福祉課長

対象となる40歳以上の受診率は、人口対比で、肺がん検診44%、胃がん検診25・4%、大腸がん検診40・4%、子宮頸がん検診と乳がん検診はいずれも20%という状況。

がんの恐ろしさだけでなく、早期発見・治療が長生きにつながるというプラスの面を前面に出したピーアールをしていきたい。

### 労働費

正社員化促進事業の実績は

横山委員 正社員化促進事業の実績はどうか。

商工観光課長

4名が正社員に転換した。令和3年度中の支給は2名で30万円、残りは令和4年度に申請していただき支給となる。

横山委員 企業への周知方法はどのようになっているか。

商工観光課長

町報と町ホームページ掲載のほか、事業所への文書送付時に周知文書を同封している。



## 農林水産業費

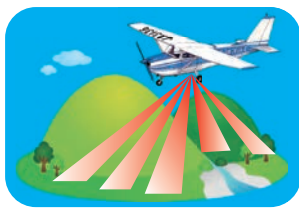
### 6次産業化施設の議論

【菅原委員】数年議論を重ね概要が決まったが、関心は高まったか。

【農林課長】募集はこれからだが、活用を希望する若手農家と意見交換をしている。さまざま意見を見ていただいているので、実現に向けて一緒に取り組んでいきたい。

### 航空レーザー測量

【菅原委員】境界明確化を大きく前進させる「航空レーザー測量」を実施するための取り組みはどうか。



【農林課長】令和5年に飛行機による測量・解析を行い、令和6年から7年以降に境界案を作って各地区の方々から同意をいただき、境界を確定していきたいと考えている。

### 木材需要拡大

【小口委員】木材需要の拡大に取り組んだが実績はどうか。

【農林課長】町内では新築増改築へ合計29件、488万8千円を給付した。その内町産材の購入支援分は210万円となった。

### 松くい虫被害の現状

【菅原委員】現在の松くい虫被害の状況はどうか。

【農林課長】今のところは落ち着いているが、手を掛けなければ広がるので引き続き防除をしていく。

### 白鷹産米次期作支援

【金田委員】令和4年度の米作りにどのような効果があったか。

【農林課長】支援を受けたのは、204件で、712ヘクタールであった。令和4年度も継続して営農に取り組んでいたと認識している。



### 棚田振興協議会活動

【金田委員】白鷹北部地区棚田振興協議会の活動状況はどうか。

【農林課長】令和3年4月に設立。令和3年度に専門部会を設置し、勉強会などを中心に実施してきた。また、農作業の省力化を目的として、リモコン草刈り機を導入した。

## 商工費

### アルカディア財団への1億円出損金

【金田委員】1億円の出損による成果をどのように捉えているか。

【商工観光課長】財団の負債を圧縮し財務体質の改善が図られた。しかし、経営は非常に厳しい状況である。

### どなか村の指定管理

【横山委員】アルカディア財団による1年間の指定管理をどのように総括しているか。

【商工観光課長】期間中837名の利用があり、郷土食伝承事業なども行い、生活文化の伝承や交流促進に結びついた。地域の方々と近隣施設と連携が必要であり、今後さらに検討したい。

### 日本の紅をつくるまち

【竹田委員】推進事業の成果はどうか。今後の展開はどうか。

【商工観光課長】令和3年度は、中山地区に約1ヘクタールの大紅花畑を新たに整備した。また山形市でしらかレッドフェアを開催し、販路拡大に努めた。今後も生産量日本一を維持し、販路拡大に取り組みたい。

【竹田委員】朝日町方面から来る際、国道287号の大瀬地区に中山方面への案内看板がない。設置の検討はないか。

【商工観光課長】ルートなどを確認し、観光シーズンにおける設置を検討したい。

## 土木費

### 定住支援の実績

【奥山委員】スマイル住まい若者定住サポート事業補助金の実績を伺う。

【建設課長】補助金の額は1490万円で、若者世帯が14件、町外から移住した若者世帯が5件となっている。

### 町道整備の課題

【金田委員】町道整備について、これからの進め方と課題は何か。

【建設課長】全ての要望にお応えできない状況であり、町民の皆様にはご迷惑をお掛けしている。

区長会からの要望事項などに、順次適切な



確に進め、少しでも要望にお応えしていききたい。

## 消防費

### 消防団員の確保

**金田委員** 団員報酬が予算額に対し減額となっているが、予定していた団員が確保できなかったのか。

**総務課長** 指摘のとおり、団員定数670名で算定していたが、実績は37名減の633名で、減額となった。

**金田委員** 地域での活動が支障なくできる団員数は当然必要であり、対策をどのように考えているか。

**総務課長** 団員の処遇改善、活動しやすい装備の充実、消防演習・操法大会などの負担軽減などが必要と考えている。町民の生命を守る消防団員の定数確保



については、重要な課題であり、新入団員の確保などに取り組んでいきたい。

### 戸別受信機の活用

**横山委員** 防災情報戸別受信機の購入数と配布台数、通信費について何う。

**総務課長** 450台購入し、現在は205台を配布している。

通信費は1台当たり年間3960円、納入と同時に発生している。**横山委員** もったいなさを感じる。機材の活用をどのように進めるのか。

**総務課長** 地域の方と話をしながら対象を拡大して、今年度中に全て行き渡るようにしたい。



## 教育費

### GIGAスクール

**笹原委員** 取り組みの現状と課題を何う。

**教育次長** コロナ禍の影響で登校できないときによりモート授業を行い、学びの保障につながった。中学校では部活動や生徒会活動など活用が広がっている。課題は学校や学級ごとの利用頻度に差があることなどである。



先生方も勉強中

### 荒砥高校地域連携協議会の活動

**横山委員** 実績は何か。

**教育次長** 入学者の確保を目指し、基礎学力の定着、学校紹介動画の更新、夜間の学校説明会などを実施した。コロナ禍により中学校との交流やオープンスクールの充実などは実施できなかった。

### 荒砥高校福祉資格取得支援事業

**横山委員** 支出が無かった。実施しなかったのか。

**教育次長** 介護職員初任者研修を実施するものの、残念ながら応募がなく実施しなかった。



**横山委員** この事業は荒砥高校のピアーลポイントの一つ。そのあたりの検討が必要になるのではないか。

**町長** ピアーลという意識はあるが主眼ではない。卒業するときの出口確保、福祉施設の人材確保として、これまで取り組んできた。

# 特別会計

## 下水道

### 普及相談員の実績

【笹原委員】下水道の普及相談員の活動実績を伺う。

### 上下水道課長

公共下水道への加入を勧めるために166戸、町設置型合併浄化槽の転換を促すため357戸を訪問した。加入はそれぞれ6戸、1戸であった。

### 加入増への取り組み

【笹原委員】下水道などの加入増へ向けて、住宅改修時の支援などの方策はあるか。

### 上下水道課長

ニーズを把握するた

めアンケート調査を行うなどしながら、次の方策を考えていきたい。

## 国民健康保険

### 事業運営基金の在り方

【奥山委員】基金の在り方をどう捉えているか。

【町民課長】現在医療費は県が負担し、町は県へ納付金を納めている。そのため多額の基金を確保する必要性は少ないと考える。

納付金を賄える適正な税率を設定し、必要に応じて基金の活用も図りながら安定した財政運営に努める。

## 介護保険

### 介護サービスの傾向はどうか

【竹田委員】居宅介護サービス費が増加している。在宅介護志向の傾

向になっているのか。

### 健康福祉課長

特にデイサービス利用が伸びた。また訪問入浴介護も伸びているが、その方にあった適切な介護サービスをご利用いただく中での結果と認識している。

【竹田委員】特別養護老人ホームの待機者状況はどうなっているか。

### 健康福祉課長

町内に2カ所あるが、現在の合計で64名となっている。



# 公営企業会計

## 病院事業

### 外来増と入院減

【奥山委員】外来患者の増加と入院患者の減少の要因は何か。

### 病院事務局次長

新型コロナウイルス感染症対策が進み、受診控えが減り外来が増えた。

入院数の減少は、感染対策の徹底などにより、高齢者のインフルエンザや肺炎の感染が減ったためと考えられる。



## 監査意見

町民と行政が心を一つにして地域課題を克服し、「未来につながる町」の実現に向けて着実な施策の展開を願う。

実質収支は8億9368万5千円の黒字となり、実質収支比率は、3・8ポイント上昇し17・1%となった。經常収支比率は、2・4ポイント改善し、86・8%となり、硬直化は見られるが9年連続80%台を維持している。また、将来の財政運営に備えた財政調整基金は3年連続増加している一方、実質公債比率は9・3%と前年度より0・6ポイント上回り増加傾向にあるので、今後ともこれらの指標の推移を注視されたい。

主な事業では、子育て支援、ICT教育の充実、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び経済回復対策、緑の循環システム及びゼロカーボン社会の構築、豪雨災害の復旧・復興など、積極的に事業が展開されたことを評価する。

当年度は「第6次白鷹町総合計画」が2年目を迎えた年である。事業の検証を進めながら、町民と行政が心を一つにして地域課題を克服し、「未来につながる町」に向けた施策の展開を願う。

代表監査委員 竹田 謙一  
監査委員 丸川 雅春



# 補正予算の 主な質疑

**金田委員** 記念事業の計画内容は何か。  
**商工観光課長** 各駅で活動されている団体による実行委員会などを組織して実施していたことを想定している。イルミネーションの設置、振る舞い、花火の打ち上げなどが検討されている。



**横山委員** 具体策と、どの程度の削減を見込んでいるか。  
**情報処理のコスト削減** システム構築と機器整備を一つの契約として想定していたが、分割することにより、5年間で500万円程度の経費削減が見込まれる。

**丸川委員** 現在の申し  
**ふるさと移住応援プログラム** **農林課長** 米粉の年間使用量が約787キログラム（約13俵）である。米の消費拡大に少しでもつながるように取り組んでいきたい。

**丸川委員** 若者が移住してきた理由の傾向をどう捉えているか。  
**商工観光課長** 田舎暮らしをしたい、就職の関係で移住したという方が主である。

## 一般会計補正予算の主なもの

フラワー長井線対策費	200万円
フラワー長井線100周年記念事業への支援	
情報処理費	1117万円
コスト削減に向けたサーバー等構築業務の見直し	
学校給食・米粉利用推進事業	18万円
米の消費拡大への支援	
ふるさと移住応援プログラム	250万円
夫または妻のどちらかが45歳未満の夫婦世帯などへの支援	
冬の生活応援事業	350万円
灯油価格高騰による高齢者世帯などの負担軽減	
斎場管理特別対策事業	52万円
原油価格等の高騰による影響への支援	
農地利用効率化等支援事業	143万円
生産の効率化に必要な農業機械の導入支援	
農業用肥料・燃油高騰対策	2860万円
農業経営の安定化に向けての支援	
原油価格等高騰対応支援事業	5620万円
原油価格等の高騰による影響を受ける町内事業者への支援	
空き家対策事業	304万円
空き家等解体補助金の対象拡充	
など 総額3億5648万円	
◎ 財源は、国・県支出金・地方債・繰越金などで対応します。	

(万円未満は端数調整)

## 令和4年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額	
一般会計	3億5648万円	90億8060万円	
特別会計	下水道	715万円	4億4247万円
	国民健康保険	6468万円	15億4641万円
	農業集落排水	361万円	1億7848万円
	介護保険	7171万円	17億9759万円
企業会計	病院事業	3000万円	12億3339万円

(万円未満は端数調整)



録画を配信

# 部活動の地域移行をどう進める

## 教育長 体制整備を検討する協議会を立ち上げる



竹田雅彦 議員

### 部活動の地域移行

令和5年度から7年度末をめどに、まずは休日の部活動から段階的に地域移行する提言が国より示された。

### 課題と対応は

**問** 地域移行する際の課題と対応をどう考えているか。

**教育次長** 受け皿となる団体や指導者の確保が課題である。国や県の対応策を分析し、持続可能な取り組みとなるよう検証したい。

**問** 体制づくりをどう考えているか。

**教育長** 今年度中に体制整備に関する検討や準備を進めるための協議会を立ち上げる準備をしている。

### 連携をどう取る

**問** 学校と地域の団体の連携をどう取るか。

**町長** ルール作りなど相当な時間をかける必要がある。人材の確保や、謝意をどう表すかなど、一つひとつ解決するよう学校と連携を



未来に向かってシュート

取り、教育委員会で具体的に動いていきたい。

### 教育の質の向上は

**問** 地域移行は教師の働き方改革を推進し、学校教育の質を向上させるためでもあるが、所見はどうか。

**教育長** 部活動には2〜3時間、準備や後片付けを含めさらに多くの時間を割いている。地域移行すればその時間を教材研究や生徒指導などに充てることで、教育活動が充実する。人材が発掘され地域の人づくりにもつながってほしい。3年かけて地域移行を切り上げたい。

### 不登校児への支援 他職種との連携

**問** 福祉的支援や医療的支援が必要な際の連携はどうか。

**教育次長** 学校、教育委員会、教育相談員、スクールカウンセラーの連携の下で支援を行っている。健康福祉課との連携が必要な場合もあり、各種サービスや団体へつないでいる。

### 未然防止と早期発見

**問** 未然防止と早期発見が重要。居場所づくりや絆づくりはどうか。

**教育次長** 学校生活の満足度や意欲などの測定テストを年2回実施し、居場所づくりに生かしている。また自治活動で集会などを行い絆づくりにつなげている。

### チームアプローチ

**問** 学校がチームとしてどう取り組んでいるか。

**教育次長** 管理職や養護教諭、生徒指導や教育相談担当など複数で指導に当たったり、保護者への面談などの対応を行ったりしている。

### 進路先との連携

**問** 中学校卒業後の社会的自立が大事。進路先との連携をどうしているか。

**教育次長** 進路について長期的に面談を行い、地元高校や通信制高校の情報提供を行っている。荒砥高校や白鷹高等専修学校に進学し、力を伸ばしたり、知識を身に着けたりした生徒も多い。魅力や特色を伝え新たな学びへつないでいきたい。



# 学校生活をより豊かにするための支援を期待

## 教育長 学校生活支援員の適切な配置を行いたい



録画を配信

### 学校生活支援員

**問** 教員に欠員が生じても再配置が進まず、町が配置する学校生活支援員にも不足感があると聞いた。

町の支援は充実しているかと理解しているが、今後の方針はどうか。  
**教育長** 代替教員などの適切な配置について、県教育委員会に対し要望を行っている。

学校生活支援員の業務は、個別対応を要する児童生徒へのきめ細やかな支援、教員の校務支援など多岐にわたり、重要な役割を担うことから、令和2年度より11名に増員するなど体制の強化を図って

いる。

引き続き各校の実情を的確に捉え、学校生活支援員の適切な配置を行いたい。

**町長** 本来は国・県が学校生活支援を行うべきだが、町単独でやらざるを得ない。白鷹町は管内で最も多く学校生活支援員を配置していると思う。

### スクールサポートスタッフ

**問** コロナ禍において派遣があった際は、授業準備などを担っていただき、学校現場はとも助かったと聞く。働き方改革は待ったなしであり、柔軟に要

望していただきたい。

**教育次長** 教員の働き方改革は大きな課題と捉えている。学校生活支援員の適切な配置などにより教員の負担軽減に努めたい。

### 地域と学校の協働

**問** 地域の協力により先生の負担感を減らす取り組みも、今後はあり得るのではないかと。  
**教育次長** 令和3年度から全ての学校で学校運営協議会・コミュニティスクールを導入し、地域の皆様に地域学習支援など多岐にわたり子どもたちの学びを支えていただいている。町としても、その取り組みを支援したい。

### スクールカウンセラー

**問** スクールカウンセラーによる相談日は月に1〜2日程度であり、不登校などを新たに生み出さないためにも、常勤化や週1日など相談日を増やすことを検討すべきではないか。

また、安心して相談できるよう日頃から交流するなど信頼関係づくりも大切と思う。

**教育次長** 初期段階への支援も大切にしていく。知見を有する人材は限られ、常勤できる人材の確保は困難である。連携を密にし、より多くの希望にこたえられるよう努めたい。

信頼関係づくりに関しては、情報共有のほか、必要とする児童や保護者に対しての紹介などで機を逃さずつなぐことを心がけている。今後も、安心と信頼

を大切にして一人一人に行き届いた対応ができるよう心がけたい。



横山和浩議員



## 条例

### ●白鷹町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症に係る防疫作業に従事する職員に対し、特殊勤務手当を新設するもの。

### ●白鷹町職員の育児休業等に関する条例及び白鷹町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員の育児参加のための休暇について対象期間を拡大するなど、育児と仕事を両立しやすい勤務環境を整備するもの。

### ●白鷹町町税条例等の一部を改正する条例の設定

地方税法の一部改正等に伴い、住宅借入金等特別控除の延長など、所要の整備を図るもの。

## 人事

### ●白鷹町教育委員会委員

大久保 直美 氏（高玉）

前任者の任期満了（9月30日）に伴い、後任に任命するもの。



ごあいさつはこちらから



### ●白鷹町固定資産評価審査委員会委員

千田 良子 氏（荒砥乙）

任期満了（10月26日）に伴い、引き続き選任するもの。

### ●人権擁護委員

菊地 洋子 氏（鮎貝）

前任者の任期満了（12月31日）に伴い、後任に推薦するもの。

## 契約

### ●東根小学校長寿命化工事請負契約の一部変更

契約金の変更

【変更前】	93,830,000円
【変更後】	97,781,200円

消防用設備等の更新が必要になったため。



新たな施設も、学校の誇りとして世代を越えて記憶をつなぐ、地域のシンボルになることと思います。

幅が広くて並んで滑ることもできるため、これまでとは違った楽しみ方があるようです。

子どもたちは待ちに待ったことでしょう。

設置されたのは、すべり台。以前の施設が老朽化し撤去されてから1年、子どもたちは待ちに待ったことでしょう。

地域の皆様のご支援で設置されたのは、すべり台。以前の施設が老朽化し撤去されてから1年、子どもたちは待ちに待ったことでしょう。

鮎貝小学校

創立150周年  
記念にすべり台

表紙



# 町職員の定年65歳へ条例改正

職員の定年延長制度の概要、今後の進め方について説明を受けた。

## 町当局の説明

### 【概要】

国家公務員法などの改正により、令和5年4月から定年が段階的に引き上げられる。2年に1年ずつ引き上げ、令和13年度で原則65歳定年となる。

地方公務員の定年については、国家公務員の定年を基準として条例で定めることとされる。

しており、12月議会においての条例改正に向けて検討を進めている。60歳から定年までの選択肢は次のとおり。

1. 原則フルタイム
2. 本人がパートタイム勤務を希望する場合は常勤職員を退職し、定年前再任用短時間勤務職員として定年退職日まで任用

サービスが停滞することも考えられる。退職された方の数だけ補充する考え方だけでなく、トータル的に考えて検討させていただきたい。

## 質疑

### 課題とメリットは

**【委員】** 定年延長により想定される課題とメリットは何か。

**【当局】** 課題としては、採用計画が1年ずつ遅れることになるため、

新陳代謝が遅れること。メリットは、経験のある方が残るので、知識や経験を伝えていただける。

**【町長】** 定員や新陳代謝にまだ見えない部分がある。定員の見直しも考えていかないと行政



# 災害から町民の生命・財産を守る

地域防災計画の修正について説明を受けた。

## 【趣旨】

白鷹町地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、災害から町民の生命や財産を守るため、各種災害の予防対策、応急対策及び復旧・復興対策について、総合的、基本的事項を定めており、政府の「防災基本計画」及び「山形県地域防災計画」の見直しなどを踏まえ、町計画に検討を加えて、必要に応じて修正することとしている。

### 【主な修正】

1. 災害対策基本法の改正を踏まえた修正への教訓及び「山形県地域防災計画」の見直しを踏まえた修正

3. その他の防災に係わる諸施策の充実

## 質疑

### ハザードマップについて

**【委員】** 最上川についてものが記されているが、排水路や地域の高低差も考慮したものを作れないか。

**【当局】** 内水面における水害も近年の災害において発生している。最上川については県管理河川のデータを基にしており、県とも相談してそのようなデータがいただければ検討したい。

### 個別避難計画について

**【委員】** 個別避難計画の策定が記載された。進



捗状況はどうか。

**【当局】** 自主防災組織に作成していただきたい。記載項目など内容が詰まった段階で自主防災組織の皆様説明会などを開催させていただきたい。

その他の説明  
○白鷹町国民健康保険の運営状況  
○第2期健康と福祉の里構想の推進など

産業建設常任委員会 9月6日

## 安定した除雪体制の確保にむけて

令和4年度の除雪事業について説明を受けた。

### 【今年度の除雪計画】

- ① 雪押し場の確保
- ② 歩道除雪委託継続
- ③ 排雪作業の実施
- ④ 雪捨て場の確保

### 【関連事項】

- ① 凍結防止剤散布の実施
  - ② 消雪道路維持修繕
  - ③ 下水道マンホールの点検・補修の推進
- 【持続可能な除雪計画の推進のために】
- ① 道路除雪作業補填料の検討



### 質疑

- ② 将来に向けた除雪路線の見直し
- ③ 広報活動の継続

### 要望を反映できたか

【委員】 昨冬の排雪作業への要望をどう計画に反映できたか。

【当局】 歩道除雪の見直し、歩道除雪機械の更新、単価の見直しを行った。

【委員】 除雪オペレーター人材の確保計画はあるか。

【町長】 直接育成はできないが、業者と話し合いながらも、ご提案があれば対応したい。

### 雪押し場の確保

【委員】 雪押し場の確保について、これまでの取り組みはどうか。

### 歩道除雪への要望は

【委員】 歩道除雪への意見要望はあるか。

【当局】 全区にアンケートを行い、機械の更新車道と歩道間の除排雪業務単価の見直しについて要望があった。

### ロータリー車の借上げは

【委員】 事業者所有のロータリー車借り上げも検討できないか。

【町長】 路線ごとの対応になるため、状況をみながら対応するが、情報をお寄せいただいた。

## ふるさと森林公園再整備特別委員会

### いよいよ始まった指定管理者公募

白鷹町ふるさと森林公園の指定管理に係る公募及び指定管理料について説明を受けた。（8月25日・9月6日）

### 【指定管理者の公募概要】

- 趣旨(抜粋) 町の活性化に寄与し、民間業者の専門的知識や経営能力を活用して、サービスの向上を図るとともに、指定管理者を公募し、創意工夫のある管理運営の提案を募集する。
- 施設整備への参画 指定管理者は、施設整備内容やデザインなどの検討に参画し、意見を反映させながら設計や設備整備を進める。
- 指定管理期間 令和6年4月1日から10年間
- 指定管理料 債務負担行為(限度額)：5200万円
- スケジュール 公募開始：9月 申請受付期間：9月～12月
- 審査：令和5年1月 選定：令和5年2月

### 質疑

### 指定管理料が増額

【委員】 公募は公益部分も含めてか。

【当局】 ふるさと森林公園だけの公募であり、園だけの公募であり、学校給食共同調理場、産業センターは引き続きリアルカディア財団で

となる。

【委員】 指定管理料が現在より600万円増額になっているが。

【町長】 サウンディング型市場調査後もコロナ禍により、様相が変わってきた。公募に手を挙げていただけると



安な状態であり、今回は金額も含めこの考え方で公募を行いたい。

### 経営責任は

【委員】 経営責任は新指定管理者が持つのか。

【町長】 契約の段階では、責任は伴うものと認識している。

### 指定管理期間10年

【委員】 指定管理期間が10年間になった経緯は。

【当局】 長期的に安定した経営、専門的知識、人材が必要であり、投資回収も踏まえたものである。



総務厚生常任委員協議会（8月2日）

障がいのある児童などの施設整備を支援

児童発達支援センター等整備事業補助金  
3049万円

町当局の説明  
障がいのある児童や

支援が必要な児童の療育と支援体制の充実を図るため、町内に当該事業所などを整備する法人を支援する。

全員協議会（8月2日）

運送事業者などに支援給付金を

運送事業者等支援給付金  
800万円

燃料費高騰などにより厳しい経営状況が続いている事業者に給付金を支給する。



質疑

ワゴン車は対象か

委員 貨物を運ぶためのワゴン車は、給付金の算定対象となるか。

当局 お客様の荷物を有償で運ぶ営業用緑ナンバーであれば対象となる。

産業建設常任委員協議会（8月25日）

空き家解体補助制度の拡充

空き家等補助事業の拡充について

特定空き家などを、所有者などが解体処分する際の補助制度を拡充する。



全員協議会（8月25日）

燃料高騰対策事業ほか8件

農業用肥料・燃料高騰対策事業

農業生産資材価格高騰への支援

緊急経済対策関係事業

原油価格などの値上がりにあたり、事業者に通ずる経費である電気料金などについて支援する。



その他の説明  
○感染症対策本部・緊急経済対策本部の状況  
○公営住宅使用料の過誤徴収についてなど

第4回臨時会 8月2日

令和4年度一般会計補正予算

（主な補正予算の内容）

児童発達支援センター等整備事業補助金	3049万円
運送事業者等支援給付金	800万円など

※内容は上記参照

議会広報特別委員会研修報告

9月20日から21日、議会広報の記事作成及び議会における意見交換の基礎となる知見を広げるため、研修を受けてきた。

② 政策研修

白鷹町でも課題となっている有害鳥獣対策と水田農業の政策について、

① 全国町村議会広報研修  
全国広報コンクール受賞トップ3の議会広報広聴に共通することは、町民の皆さんと常に接点をもち続け、信頼関係を築

踏まえた内容となった。今後の議会広報活動に生かしてまいります。



## 政策提言は町政にどう

### 拠点



提言  
1

コミュニティセンターを拠点とした地域活性化への取り組みに積極的な支援を。



地域の創意工夫が発揮されるように地域づくり推進交付金などによる支援を継続する。

回答  
1



### 健康



提言  
2

町立病院と健康福祉センターが将来にわたり町民の健康維持・増進の拠り所となるよう多角的に検討を。



回答  
2

一人一人が心身ともに元気に過ごせるよう、総合相談機能を強化し専門機関との連携などを進めることで持続可能な体制を確保する。

### 情報



提言  
3

ICT（情報通信技術）の推進がすべての年代町民にとって利便性向上につながる取り組みを。



行政手続きや窓口業務などICTを活用した取り組みを進め町民の利便性の向上に努める。

回答  
3



### 教育



提言  
4

タブレットによる学習が生徒児童の習熟度に合わせたきめ細やかな教育で、学力の向上に結び付くよう努めること。



回答  
4

ICT支援員や学校生活支援員を配置し、個々の能力に応じたきめ細やかな指導を行っている。



令和3年11月、議会の総意として佐藤町長に行った政策提言に対し令和4年8月26日、今野議長に回答が示された。提言が町政に生かされ、町民の暮らしに反映されているのか。抜粋して掲載する。



# 生かされたか!?

## 支援



提言  
5

コロナ禍で打撃を受けた飲食業や宿泊業・事業所などへ、引き続き支援策の検討を。



給付金による経営支援や飲食店への割引助成など町内の経済情勢に応じた対策を実施する。

回答  
5



## 観光



提言  
6

地域の資源を生かした観光のあり方を、さまざまな観点で多くのご意見を聞き検討を。



回答  
6



町内外の情報の収集に努め、誘客につながる魅力的な観光コンテンツ(情報内容)を検討していく。

## コメ



提言  
7

米生産者の資金繰り支援などの働きかけと、米の消費拡大についても対応策の検討を。



回答  
7



町独自の支援事業や県事業を活用し支援した。産業フェアなどで積極的にコメを活用したい。

## 鳥獣



提言  
8

高齢化が進む鳥獣被害対策実施隊員の確保と、捕獲後の対処法の検討。人家近くに現れるクマへの対応策を講ずること。



回答  
8



狩猟免許取得支援のほか、出動体制を検討する。処理に関しては置賜3市5町で検討中。クマの目撃情報をもとに地域住民の安全確保に努める。

次の定例会は **12月** です

住んで楽しい地区にしたいですね。



「貝の会」の皆さん (貝生地区)

# 輝く地域の方 白鷹の未来を彩る 貝の会 (貝生地区青年会)

… つながりと感謝を大切に…

貝の会の皆さんにお話を伺いました。

**活動のきっかけ**は昔より地域で楽しめることが減っている、子どもの頃はもつと楽しんでた、という声から、無いなら自分たちで作ろうと会を立ち上げました。

**大花火大会が有名ですが**やってみたことや、あったら楽しいことなどアイデアを出し合い

少しずつトライしてきました。その中で一番有名になったのが「貝生大花火大会」です。昔は盆踊りが一大イベントでしたが、他地区の花火大会と重なって参加者も減り、だっただら貝生で打ち上げようと、平成23年から始めました。

今年は3年ぶり、第10回の記念大会でした。地区の皆さまをはじめ町内外の事業所様のご協賛をいただき、過去最大の700発を打ち上げることができたことに、心から感謝いたします。

**メンバー構成は**20〜30代の20数名です。最初は5名からのスタートで、35名いたこともありました。

**心がけてることは**やっている自分たちが楽しくなければ、みんなを楽しませることはできないという気持ち大切にしています。ただ、自己満足だけではダメなので、皆さんに楽しんでもらえることとのバランスを常に考えています。



**良かったことは**素晴らしい花火だったという方から言っていたとうれいす。来年も頑張らねばと励みにもなります。特に熱く応援していただいている地域の方々には、本当に感謝しています。

**今後は**発足から12年、メンバーも年を重ね、若い世代が少なくなってきました。再編も考えながら、若い人たちが楽しめる活動も楽しめる活動」がキーワードのように感じます。そのために地域の理解と協力、そして感謝の心が大切であることも改めて感じたいです。



会長の菅原隆之さん

**議会へひとこと**若い衆が元気になれば地域が元気になります。何かしてみたい、何かを変えたいと思ってる若者の声を拾い上げて応援していただきたいです。

**取材を終えて**

「自分たちも皆さんも楽しめる活動」がキーワードのように感じます。そのために地域の理解と協力、そして感謝の心が大切であることも改めて感じたいです。

**編集後記**

いまだに新型コロナウイルスに惑わされる日々ですが、着実に変わっている実感もあります。県が新規感染者の全数把握を見直し、市町村ごとの感染者数を発表しなくなりました。

各地区ではお祭りが再開し、鮎まつりや若鮎マラソン大会も開催され、成功裏に終わりました。コロナ禍を吹き飛ばす風が少し吹いてきたように感じます。

9月定例会で令和3年度の決算を認定しました。コロナ禍の中、実質8億9300万円ほどの黒字になったことは評価に値すると思います。

先月、広報研修を受講しました。議会広報誌が皆様にとって評価に値する誌面となるよう、努めてまいります。

**広報委員**

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。